微積分 I 演習(1) 2007 年 4 月 16 日

微積分I演習

- 第1回 実数の集合 -

担当:佐藤 弘康

集合

集合とはいくつかのものをひとまとめにして考えた「ものの集まり」のこと. 通常,集合はアルファベットの大文字で表す.

• **N**:自然数 (1,2,3,...) 全体の集合.

Z:整数全体の集合。

• Q:有理数全体の集合.

R: 実数全体の集合.

• **C**:複素数 $(a + \sqrt{-1}b, a \ge b$ は実数) 全体の集合.

∅:空集合、元を全く含まない集合、

- 集合に関する用語・記号 -

一般に,元 a,b,c,\ldots からなる集合を $\{a,b,c,\ldots\}$ と表す.また,条件 P を満たす元 x 全体の集合を $\{x\,|\,P\}$ と表す (例: $\{x\,|\,x\in\mathbf{Z},x^2\leq 5\}=\{-2,-1,0,1,2\}$).

- $a \in A : a$ は A の元である (a は A に含まれる, 属する).
- $a \notin A : a$ は A に含まれない.
- $A \subset B : A$ のすべての元は B に含まれる ($\iff \lceil a \in A \implies a \in B \rfloor$).
- $A \cup B = \{x \mid x \in A \text{ または } x \in B\}$: 和集合
- $A \cap B = \{x \mid x \in A \text{ かつ } x \in B\}$: 共通部分
- $A \setminus B = \{x \mid x \in A \text{ かつ } x \notin B\}$: 差集合
- $\bigcup_{\substack{n=1\\ \infty}} A_n = \{x \mid$ 少なくともひとつの $n \in \mathbb{N}$ に対して $x \in A_n\}$
- $\bigcap_{n=1} A_n = \{x \mid$ すべての $n \in \mathbb{N}$ に対して $x \in A_n\}$

微積分 I 演習 (1) 2007 年 4 月 16 日

区間

$$(a,b) = \{x \mid x \in \mathbf{R}, a < x < b\}, \qquad (a,\infty) = \{x \mid x \in \mathbf{R}, a < x\},$$

$$[a,b] = \{x \mid x \in \mathbf{R}, a \le x \le b\}, \qquad [a,\infty) = \{x \mid x \in \mathbf{R}, a \le x\},$$

$$(a,b] = \{x \mid x \in \mathbf{R}, a < x \le b\}, \qquad (-\infty,b) = \{x \mid x \in \mathbf{R}, x < b\},$$

$$[a,b) = \{x \mid x \in \mathbf{R}, a \le x < b\}, \qquad (-\infty,b] = \{x \mid x \in \mathbf{R}, x \le b\}.$$

問題 **1.1.** 有理数全体の集合 **Q** を $\{x \mid P\}$ の形で書いてみよ(もちろん $\{x \mid x \in \mathbf{Q}\}$ はダメ. 整数 **Z** は使用してよい).

問題 **1.2.** a,b を a < b を満たす有理数とする.このとき,a < c < b を満たす有理数 c が必ず存在することを説明せよ.

基本問題.

実数の集合 $A \subset \mathbf{R}$ が「上に有界」、「下に有界」とはどういうことを意味するか?

問題 1.3. 次の集合が有界かどうか調べよ.

- (1) $\{\sqrt{x+1} \sqrt{x} \mid x \in \mathbf{R}, x > 0\}$
- $(2) \ \{x \,|\, x \in \mathbf{R}, x^2 > 2\}$

$$(3) \left\{ \frac{n^2 + n}{n+2} \mid n \in \mathbf{N} \right\}$$

問題 **1.4.** $A_n = \left(1, 1 + \frac{1}{n}\right)$ とおくとき, $\bigcap_{n=1}^{\infty} A_n$ はどのような集合か?